

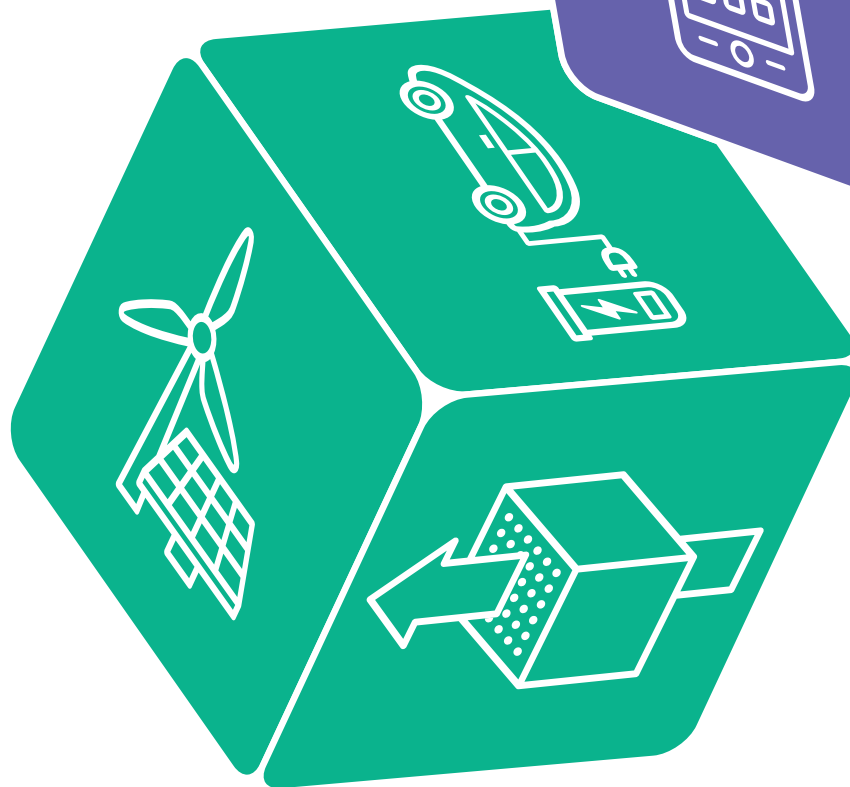
証券コード:5333

# 株主のみなさまへ

## 2024年度中間報告書 (第159期)

2024年4月1日から  
2024年9月30日まで

**CN**  
Carbon Neutrality



**DS**  
Digital Society



©NGK-kero/dwarf

Surprising Ceramics.



日本ガイシ

株主のみなさまには平素から格別のご高配を賜り、  
厚くお礼申し上げます。  
当社の2024年度中間報告書をお届けするにあたり、  
謹んでごあいさつ申し上げます。

当社グループの第159期第2四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の事業概況を謹んでご報告申し上げます。

当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、中国市場や東南アジア市場における自動車需要の減速に伴うサプライチェーン在庫の調整等により、自動車関連製品の出荷が減少した一方、半導体製造装置用製品で一部出荷の集中があったことに加え、旺盛なデータセンター投資に伴うハードディスクドライブ(HDD)用圧電マイクロアクチュエーターの出荷が増加したことや為替円安によるプラス効果も相まって、前年同期比5.5%増の2,983億52百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は売上増や為替円安による効果から、同22.2%増の397億円、経常利益は、同32.6%増の383億67百万円、親

会社株主に帰属する中間純利益は、同42.3%増の258億69百万円となりました。

通期の業績につきましては、NAS®電池の大型プロジェクトの一部出荷が翌期へずれ込む見通しの一方で、半導体製造装置用製品の出荷前倒しやHDD用圧電マイクロアクチュエーターの好調が継続することを見込んでおります。売上高は前回見通しどおり前年同期比7.1%増の6,200億円と予想するものの、営業利益、経常利益については出荷構成の変化から前回予想を上方修正し、それぞれ同17.5%増の780億円、同17.4%増の740億円の見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益については、需要回復が遅れているパッケージ事業の事業用資産に対する減損損失の計上により前回予想を据え置き、530億円としております。

当期の中間配当金につきましては、1株あ

たり30円とさせていただきます。また、期末配当につきましては、現時点で30円の予想としております。

海外の地政学的な緊張の継続、物価やエネルギー価格の上昇懸念など下期の事業環境は不確実性の高い状況が継続しておりますが、期初に掲げた以下の重点課題について取り組み、グローバルに成長し続ける企業を目指してまいります。

- 1) ESG経営の推進
- 2) 既存事業の収益力向上と新規事業の創出

当社グループは、こうした取り組みを通じて経営基盤のさらなる強化に努め、独自のセラミック技術で社会の期待を超える製品を提供し、持続可能な未来のために成長し続けてまいります。株主のみなさまにおかれましては、何卒倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 小林 茂



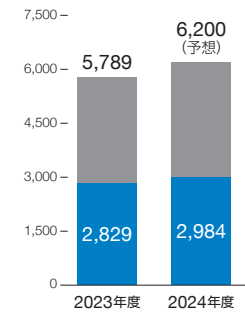
# 営業概況

## 業績の推移

■ 通期 ■ 半期

### 売上高 (単位:億円)

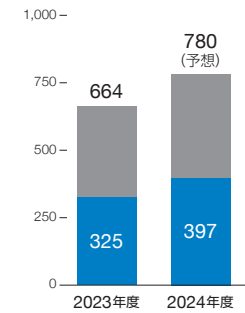
2,983億52百万円  
前年同期比 5.5% ↗



デジタルソサエティ事業関連製品の出荷が増加したことに加え、為替の円安もあり、前年同期比5.5%増の2,983億52百万円となりました。

### 営業利益 (単位:億円)

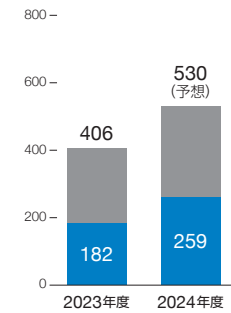
397億00百万円  
前年同期比 22.2% ↗



売上増や為替円安による効果から前年同期比22.2%増の397億円となりました。

### 親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位:億円)

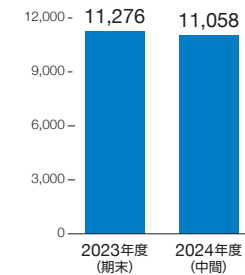
258億69百万円  
前年同期比 42.3% ↗



売上増や為替円安による効果から前年同期比同42.3%増の258億69百万円となりました。

### 資産合計

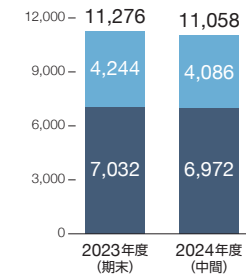
(単位:億円)



現金及び預金が増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産や有形固定資産等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて217億29百万円減少の1兆1,058億47百万円となりました。

### 負債・純資産合計

(単位:億円)



負債合計は、短期借入金が増加した一方で、長期借入金や固定負債その他に含まれている繰延税金負債等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて157億48百万円減少の4,086億2百万円となりました。  
また、純資産合計は、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ59億81百万円減少の6,972億44百万円となりました。

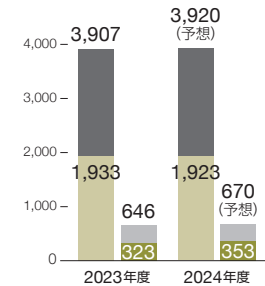
## 事業別の概況

### セグメントごとの売上高 (単位:億円)

デジタルソサエティ事業  
791

### エンパイロメント事業

売上高・通期 営業利益・通期  
売上高・半期 営業利益・半期

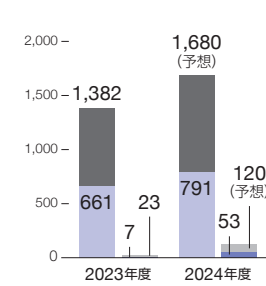


中国市場や東南アジア市場における自動車需要の減速に伴うサプライチェーン在庫の調整等により売上高は、前年同期比0.4%減の1,925億30百万円となった一方営業利益は、為替円安のプラス効果や費用発生が遅れ等により、同9.4%増の353億10百万円となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高183百万円を含んでおります。

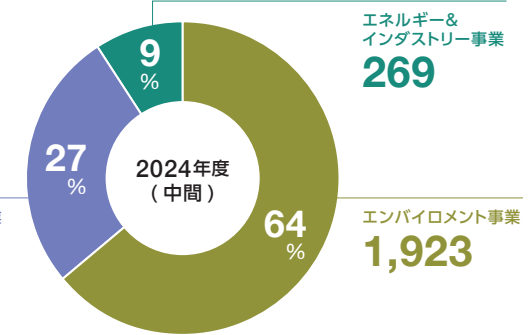
### デジタルソサエティ事業

売上高・通期 営業利益・通期  
売上高・半期 営業利益・半期



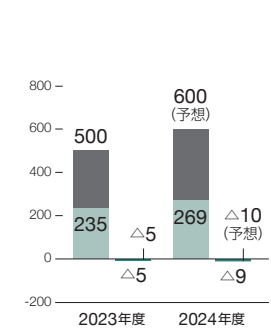
半導体製造装置用製品で一部出荷の集中があったことに加え、旺盛なデータセンター投資に伴うハードディスクドライブ(HDD)用圧電マイクロアクチュエーターの出荷が増加したため、売上高は前年同期比19.8%増の791億42百万円となりました。営業利益は売上増や為替円安の影響もあり、同614.2%増の52億50百万円となりました。

※当中間連結会計期間より、「エネルギー&インダストリー事業」に含まれていた産業機器関連製品を、「エンパイロメント事業」へ報告セグメントの変更をしており、各セグメントの前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で算出しております。



### エネルギー&インダストリー事業

売上高・通期 営業利益・通期  
売上高・半期 営業利益・半期



国内や米国の送配電投資が引き続き堅調であったことから、がいし製品の出荷も好調に推移したことや、NAS電池の海外案件も相まって、売上高は前年同期比14.4%増の272億42百万円となりました。営業損益は為替円安のプラス効果があるもNAS電池の部材調達コストの上昇等により8億65百万円の営業損失(前年同期は5億23百万円の営業損失)となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高379百万円を含んでおります。

TOPIC  
1

## 改良型NAS電池を販売開始

当社とドイツの総合化学メーカーBASFの子会社であるBASF Stationary Energy Storage GmbHは、従来の大容量蓄電池NAS®電池（コンテナ型）の性能を向上させた改良型NAS電池「NAS MODEL L24」を共同開発し、海外市場向けに販売を開始しました。

改良型NAS電池は、単電池内の腐食の大幅な低減により、年間1%未満の低劣化率を実現しました。従来品に比べ少ない設置台数での運用が可能となり、メンテナンス費用も抑えることができるため、電力貯蔵システムへの投資を約20%削減できます。

当社とBASFは、2019年にNAS電池の販売提携契約と次世代ナトリウム硫黄電池の共同研究契約を締結し、NAS電池の販売拡大と共同研究に取り組んできました。NAS電池は、再生可能エネルギーの安定化や電力需給バランスの調整、非常用電源など様々な用途で利用されており、現在までに全世界で250カ所以上、20年以上の安定的な運用実績があります。両社は今後も連携し、改良型NAS電池の提案・販売活動をさらに推進し、世界の再生可能エネルギー導入拡大とカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



改良型 NAS 電池「NAS MODEL L24」

TOPIC  
2

## 多様な人材の活躍と自律的な行動促進に向け基幹職人事制度を改定

当社は2025年4月に、多様な人材の最大活用と自律的行動の促進に向け、基幹職（管理職）の人事制度を改定します。年齢や在籍年数にとらわれず職務内容に応じた処遇とするなど、挑戦し変革する人材を後押しし、NGKグループビジョンで掲げるカーボンニュートラル関連とデジタル社会関連分野への事業構成転換を推進します。

新しい基幹職人事制度では、これまで1種類であった等級を複線化し、高度な専門知識やスキルの発揮に特化して業務を行うエキスパート等級や、組織マネジメントに特化したマネジメント等級を新設し、多様な人材に活躍の場を提供します。全ての職務に対して

ジョブディスクリプション（職務記述書）を設定し社内に関示することで、それぞれの職務内容を明確にします。併せて、職務に応じた年収とし、年齢による処遇の低下や役職定年を廃止します。評価制度については、成果に対する評価だけでなく、基幹職として求められる行動に対する評価を取り入れることで、変革に向けた自律的な挑戦や、多様性が尊重される豊かで活気あふれる職場づくりを後押しします。さらに、従来の社内公募に加えて社内スカウト制度を導入することで、個人の意志で次のキャリアに挑戦できる機会を増やし、組織の活性化と新たな挑戦を生み出す環境の整備を促進します。

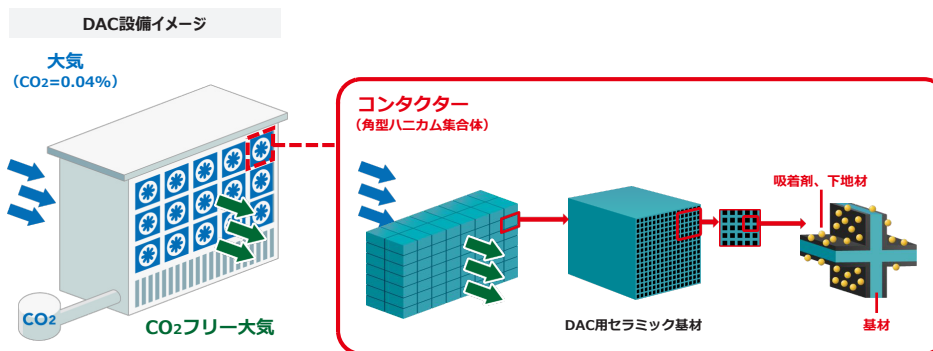
## 当社のDAC用セラミック基材が2025年大阪・関西万博のDAC実証装置に採用

当社が開発したダイレクト・エア・キャプチャー (Direct Air Capture: DAC) 用セラミック基材が、公益財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) が2025年日本国際博覧会 (以下、大阪・関西万博) で実証試験を行うDAC装置に採用されることが決定しました。複数設置するCO<sub>2</sub>回収ユニットの一つに使用されます。

DACは、大気中に含まれる二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を直接吸着・吸収し回収する技術です。2050年には約10億トンのCO<sub>2</sub>がDACにより処理される見通しもあり、カーボンニュートラルに貢献する技術として注目されています。

このたびのDAC用セラミック基材は、大阪・関西万博で実証試験を行うDAC装置内で、CO<sub>2</sub>を吸着させるために用いられます。当社は、主力事業の自動車排ガス浄化用セラミックスで培ったセラミック製ハニカム構造体の技術を応用し、「コンパクトかつ表面積が大きい」「低圧力損失 (大量の空気を効率よく処理できる)」などの特長を持つDAC装置向けセラミックスの開発に注力しています。採用されたのは、DAC用セラミック基材向けに開発したコーティング技術を適用し、基材の表層にCO<sub>2</sub>吸着剤を塗布 (担持) するための多孔質材料をコーティングした製品です。

当社は今後もDACプラント製造技術を有する企業と連携してDAC技術の社会実装に寄与し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。



ダイレクト・エア・キャプチャー (DAC) と DAC 用セラミック基材のイメージ

## 統合報告書「NGKレポート2024」を発行

当社は統合報告書「NGKレポート2024」を発行しました。NGKレポートはステークホルダーの皆さまとの信頼関係を構築するために、持続的な成長に向けたグループの価値創造 (将来にわたり社会に提供する価値) のプロセスを統合的に報告するものです。

- 「NGKレポート2024」の詳細につきましては、以下よりご覧ください。

<https://www.ngk.co.jp/sustainability/pdf/2024/ngk2024.pdf>

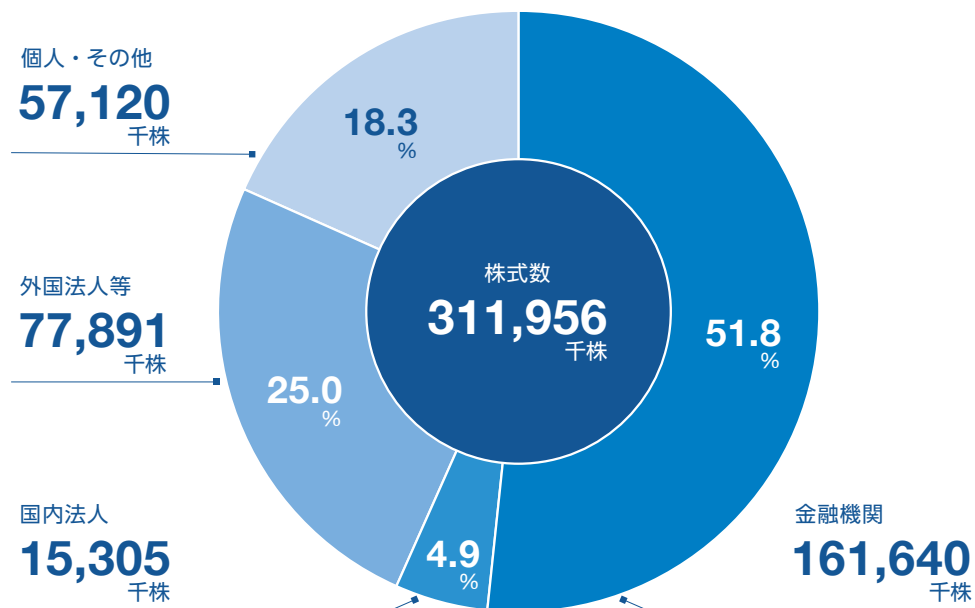




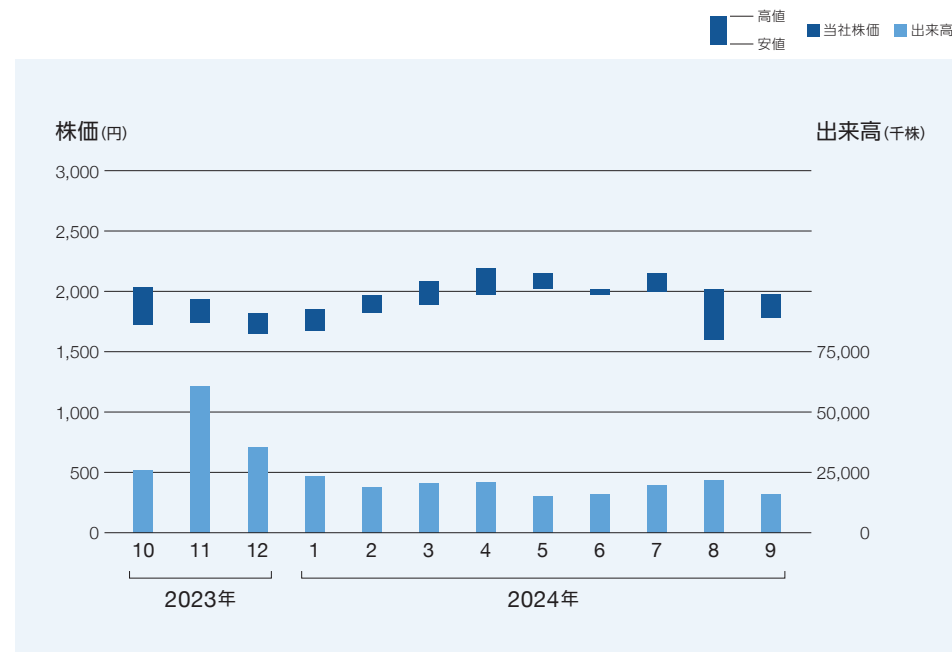
## 株主の状況

(2024年9月30日現在)

株主数 **51,952**



## 株価の推移



| 大株主 (上位10名)                                | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%) |
|--------------------------------------------|------------|-------------------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)                   | 52,364     | 17.74                   |
| 明治安田生命保険相互会社                               | 21,695     | 7.35                    |
| 第一生命保険株式会社                                 | 21,457     | 7.27                    |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口)                        | 19,390     | 6.57                    |
| 株式会社三菱 UFJ 銀行                              | 7,204      | 2.44                    |
| 全国共済農業協同組合連合会                              | 7,029      | 2.38                    |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社                         | 4,387      | 1.48                    |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 3,924      | 1.32                    |
| JP モルガン証券株式会社                              | 3,667      | 1.24                    |
| BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT                | 3,563      | 1.20                    |

(注) 当社は、自己株式16,838,621株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、上記持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除した株数を基準として算出し、小数点第3位以下を切り捨ててしております。

# 株式に関するお手続きについて

## 1 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

| ▶お手続き、ご照会の内容                                                                                                                                            |             | ▶お問い合わせ先                                                                                                                                    |                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・特別口座から一般口座への振替請求</li><li>・単元未満株式の買取・買増請求</li><li>・住所・氏名などのご変更</li><li>・特別口座の残高照会</li><li>・配当金の受領方法の指定*</li></ul> | 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>☎ 0120-232-711 (通話料無料)                                                                            | 【郵送先】<br>〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・郵送物などの発送と返戻に関するご照会</li><li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li><li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li></ul>                             | 株主名簿管理人     | <div>● 手続き用紙のご請求方法</div> <div>インターネットによるダウンロード</div> <div><a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></div> |                                                               |

\* 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選びいただけません。

## 2 証券会社などの口座に記録された株式

証券会社などの口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。

| ▶お手続き、ご照会の内容                                                                                                                |                              | ▶お問い合わせ先                                                         |                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・郵送物などの発送と返戻に関するご照会</li><li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li><li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li></ul> | 株主名簿管理人                      | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>☎ 0120-232-711 (通話料無料) | 【郵送先】<br>〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部 |
| ・上記以外のお手続き、ご照会など                                                                                                            | 口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。 |                                                                  |                                                               |

